# インド人エンジニア

篠原 秀

**シリコンバレーには，さまざまな人たちが働いている．シリコンバレーのハイテク会社で働けば，アジア，ヨーロッパ，南米，オセアニア，アフリカなど世界各国から来た人たちに会うことができるであろう．しかし，半導体関連のエンジニア部門には，インド人をはじめとするアジア人のエンジニアたち[注1]が目立つ．そこで今回は，このインド人エンジニアについて紹介したい．**

## 人口

シリコンバレーのインド人技術者たちの数は，年々増え続けており，20万人[注2]にもなっているといわれる．移民局が発行するH1ビザもインド人に対して発行される量は，ほかの国からの技術者に比べて圧倒的に多い．シリコンバレーの中規模以上の会社に行くと，かならずインド人エンジニアに会うことができるし，レストランや週末のショッピングでも，つねに目にするグループである．

数年前，筆者は公立の小学校の説明会に参加したのだが，そこに来ていた父兄の約半分がインド人だった．

シリコンバレーのエンジニア人口の中で大きな割合を占めるインド人エンジニアたちは，シリコンバレーやその周辺の町に住んでいる．たとえばインド人が多いと言われているFremont市には，インド人向けの食品，衣料品の店，そして映画館（**写真1**）さえもある．もちろん，インド料理のレストラン（**写真2**）も多くある．

## バックグラウンド

シリコンバレーで働く多くのインド人エンジニアたちは，母国インドで育った人たちだ．ほとんどのエンジニアたちは，インドで学士号をとって，アメリカの大学で修士号を取得する．

シリコンバレーにやって来るインド人エンジニアたちは，電子工学やコンピュータ科学を専攻した人たちが多い．一般的にいうと，彼/彼女らの母国での教育はしっかりしていて，米国に来てからすぐに修士課程を始める．インドでもっとも有名な大学は，IIT（Indian Institute of Technology）だ．これはよく，米国のMIT（マサチューセッツ工科大学）に匹敵する大学といわれるが，入学の倍率からいくとMITよりも入学困難なようだ．IITには，Bonbay，Delhi，Madras，Kanpur，Kharagpurなど6校があるが，これらの卒業生の多くが米国全土にある大学院に散らばり，修士号や博士号を取得した後，シリコンバレーに集まってくる．

## 職種

エレクトロニクス関連企業においてインド人エンジニアの割合がもっとも大きい職種は，ASICなどの設計エンジニアや，検証を専門に行うベリフィケーション・エンジニアだ．会社によっては，ASIC開発にかかわるエンジニアのうち8～9割以上がインド人エンジニアというところさえもある．またソフトウェアの部署にもインド人エンジニアはよく見られる．年数を重ねるにつれて，インド人エ

〔写真1〕インド映画の映画館

〔写真2〕インド料理店

注1：ここでいう，アジア人とは，インド人のほか，中国人や中国系（台湾，香港など），マレーシア，シンガポール，ベトナム，韓国，日本などから移民してきた人たちを含む．

注2：シリコンバレーでは，技術者以外のインド人たちも少なくない．筆者は，日常生活の中でインド人のウェイタ，会計士，教師，教授職などの人たちと接する機会が多い．非エンジニア職でもっともよく目にするインド人は，医者である．専門医のリストのうちの半分ちかくが，インド人医師の名前でうまっていることもある．投資家になったインド人たちも多い．

〔表1〕インド人がCEOか重役の会社の例

| 会社 | 名前 | 役職 | 備考 |
|---|---|---|---|
| Avici Systems社 | Surya Panditi | CEO | 高速ルータ |
| Cirrus Logic社 | Suhas Patil | 創業者 | 半導体 |
| Cradle Technology社 | Satish Gupta | CEO | プロセッサ開発のスタートアップ企業 |
| Exodus社 | K．B．Chandrasekhar | 会長 | インターネットのデータのホスト |
| Juniper Networks社 | Pradeep Sindhu | CTO | 高速ルータ |
| Media Vision社 | Paul Jain | CEO | マルチメディア製品．1990年代に倒産 |
| Ramp Networks社 | Mahesh Veerina | CEO | SOHOアクセス・ルータなど |
| Stargate Solutions社 | Ram Jayam | CEO | 高品質IPコア提供のスタートアップ企業 |
| Sycamore Networks社 | Gururaj Deshpande | 会長 | 光ファイバを使ったネットワーク |

CEO：Chief Exective Officer
CTO：Chief Technology Officer

〔図1〕siliconindia

ンジニアたちの多くは，管理職についたり，アプリケーション部門に行ったりする．ここまでは，他のアジア人エンジニアたちと似ている．違うところは，インド人エンジニアは，マーケティングに行く人が少なくないことだ．

一般論だが，インド人たちは，西洋（おもにイギリス）式の教育を受けているので，子供のときから英語でのコミュニケーションに長けている．技術力，ビジネス・センス，そしてコミュニケーション能力を駆使して製品企画などの業務に励んでいるインド人の元エンジニアたちは少なくない．また，管理職になった元エンジニアたちの中には，インドにある開発センタとの連携をとりながら，母国と行き来している場合もある．最近，社員100人以下の会社でさえもインドに開発センタを置きたいという例が増えてきている．これは，インドにある安くて質のよい開発力を，シリコンバレーの会社が発掘しているケースだ．

この数年の間にインド人技術者によっての起業がさかんになってきた．インド人エンジニアたちの一部は，技術をバックに人脈をつくり，ビジネス・センスを磨いて，投資家を集めている．インターネット・ブームに入って以降，インド人が起業家になる率は，ほかの移民に比べて一番高い．いま，インド人だけでなく米国人の間でも，TiE[注3]という組織が注目されている．このTiEは，インド人の業界著名人たちによって創設され，数々の新会社設立に貢献している．Exodus社のように，TiEの力を借りて成功したIT関連の会社は少なくない．またインド人技術者やビジネス・パーソン向けのsiliconindiaという雑誌さえもある（**図1**．http://www.siliconindia.com/）．

かつての起業家やハイテク会社の重役であったインド人たちは，いまでは投資家になっている．たとえば，一つの会社をCerent社（Cisco Systems社に69億ドルで買収された）とSiara Systems社（Redback Network社に42億ドルで買収された）に分けたと言われるVinod Kholsa氏も同じように投資活動に力をいれ，複数の会社役員をしている．ちなみにLight Reading社（http://www.lightreadling.com/）によると，同氏はネットワーク産業で一番影響力がある人物として紹介されている．

## 生活・文化

男性のインド人エンジニアたちは，数年エンジニアとして働いた後，必ずといってよいほど30歳前後で結婚する．移民エンジニアたちにとってこの時期に結婚するというのは珍しくないが，同じ年代の米国人エンジニアたちの既婚率は，インド人エンジニアに比べるとずっと低い．

一番よくあるケースは，親戚などからの紹介で母国など[注4]に住むインド人女性と知り合い，半年から1年くらい電話や電子メー

### コラム　パキスタンとバングラデシュからの貢献者たち

50年ほど前に，宗教の違いを背景にインドから分かれた二つの国がある．パキスタンとバングラデシュである．パキスタン人とバングラデシュ人は，文化や人種の面でいうとインド人と共通している．たとえば，パキスタンや北インドではPunjabi人が多いし，ウエスト・ベンガルやバングラデシュでは，ベンガル語を話す人が多い．

シリコンバレーで働くエンジニアたちの中には，インド人ほどではないが，パキスタンやバングラデシュから移民してきた人たちがいる．宗教色の強い仕事外のサークルなどでは，パキスタン人やバングラデシュ人はインド人のグループ（ヒンズー教やシーク教）といっしょの行動をとることはない．しかし，TiEなどのビジネスのサークルでは，インド人たちといっしょに活発に参加している．

また，インド人同様，パキスタンの著名人もいる．たとえば，Nexgen社買収後にAMD社の社長になったSaiyed Atiq Raza氏は，Raza Foundries社という会社をつくり，San Joseにあるりっぱなビルに会社を移した．Raza Foundries社は，投資した会社を長期的，また多角的に助けていくという会社で，いままでのベンチャ・キャピタル以上の役目をするとうたっている．

注3：TiE（http://www.tie-sc.org/）．TiEは，The Indus Entrepreneursの略で，メンバの人脈作りや起業家の育成の目的で設立された組織である．この組織は，1990年前半，インド人のハイテク・ビジネス著名人たちによって作られて以来，数々の会社を成功に導いている．1990年後半に入ってからのTiEの影響力は強い．
注4：筆者の経験では，母国のインドが一番多いが，そのほかに，アメリカ，イギリス，カナダ，オーストラリアなどに在住するインド人と結婚した例を知っている．